

研究協力をお願い

横浜市スポーツ医科学センターでは、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

膝前十字靭帯再建術後の新たな筋力評価の開発

～筋力発揮直後の立ち上がり Rate of Force Development に着目して～

1. 研究の対象および研究対象期間

2013年4月から2023年3月に横浜市スポーツ医科学センターで半腱様筋を用いた前十字靭帯再建術後のリハビリテーションを行い、筋力測定機器にて筋力評価を受けられた方

2. 研究目的・方法

前十字靭帯再建術後のスポーツ復帰の指標の1つとして膝関節の最大筋力が健側比85～90%まで回復することがあげられますが、この基準に到達してもなお再建術後にスポーツ復帰ができない例や再受傷が生じる例があります。そこで、スポーツ復帰の基準として再建術後の筋力評価において最大筋力以外の新たな指標を開発する目的で、診療で集めた筋力測定データを活用します。本研究では、筋力測定データの解析では筋力発揮の開始時点からの時間当たりの筋力変化で算出される Rate of Force Development（以下、RFD）に着目し、RFDと最大筋力の回復過程およびスポーツへの復帰成績の関連を分析します。

研究期間

令和4年4月から令和5年3月末日まで

なお、研究期間は必要に応じて年度ごとの研究申請をもって1年単位で延長する

3. 研究に用いる情報の種類

- ・年齢、性別、身長、体重、競技種目、競技レベル、術前待機期間、半月板損傷合併、グラフトの種類、スポーツ復帰(公式戦出場)の可否
- ・筋力評価で得られた術後3ヶ月、6ヶ月、12か月の測定値

得られた情報は、解析を行う前に氏名や患者番号などの個人情報を削除し、新たな符号(番号)をつけ、個人が特定できないように匿名化します。匿名化したうえで、北里大学と共同で解析を実施します。匿名化されたデータは横浜市スポーツ医科学センターおよび北里大学の関係者以外はアクセスできないように、パスワードロックのかかる情報漏洩対策を施した状態で管理します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科

氏名：唄 大輔

住所：222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内

電話番号：045-477-5050

研究責任者：鈴木仁人（横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科）